



## 事務所からのお知らせ

平成18年7月7日

### 天竜川ダム再編事業環境検討委員会の設置について

#### 1. 概要

天竜川ダム再編事業に伴うダム直下から海域までの物理環境、生物環境について、専門技術的な見地から検討・助言を得るため、天竜川ダム再編事業環境検討委員会を設置しましたのでお知らせします。

詳細は別紙のとおり

トップページ

事務所からのお知らせ

河川事業

天竜川下流部水難事故防止サイト

河川整備基本方針・整備計画

ダム事業

道路事業

道路行政評価

防災情報—災害に備える

道路工事情報

現在の河川状況画像

現在の道路状況画像

事務所紹介

許認可業務等・資料ダウンロード

建設業者向け情報

Q&Aコーナー

リンク集

総合学習  
川で学ぶ  
道で学ぶ

未来へつなぐ  
地域交流

東海道  
古城探訪

天竜川に  
橋を架ける

## 天竜川ダム再編事業環境検討委員会について

### 1. 目的

天竜川は、中央・南アルプス間を流下する急流河川であり、流域は中央構造線等による急峻な地形と脆弱な地質のため、土砂の生産量・流出量が多く、流域の土砂災害、既設ダムの堆砂、ダム下流河道における砂州の固定化、河口海岸域の侵食等が問題となっている。

天竜川ダム再編事業は、利水専用既設ダム（佐久間ダム）を有効活用し、新たに治水機能を確保し、天竜川中下流部の洪水防御に資するものである。また、貯水池の保全を図るために恒久的な堆砂対策を実施することにより土砂移動の連続性を確保し、ダム下流河川の望ましい河川環境、海岸侵食の抑制等を目指すものである。

本検討委員会においては、天竜川ダム再編事業に伴うダム直下から海域までの物理環境、生物環境の変化について、専門技術的な見地から検討・助言を得るものである。

### 2. 検討事項

- 1) 検討対象は、天竜川ダム再編事業に伴うダム直下から海域までの物理環境、生物環境の変化に関することを中心とする。
- 2) 具体的には、①天竜川中下流部環境の現況分析、②天竜川ダム再編事業による中下流部の環境予測・評価、③今後の調査計画、についてとりまとめる。

### 3. 検討委員会の構成、進め方

- 1) 本検討委員会は、別紙の河川工学、海岸工学、砂防工学、河川生態学、海岸海洋生態学などの分野における有識者より構成する。
- 2) 平成 18 年度末を目途に中間とりまとめ、平成 19 年度上半期を目途に全体とりまとめの成果を得る。

## 別紙

### 天竜川ダム再編事業環境検討委員会委員

- |        |             |                |
|--------|-------------|----------------|
| 青木伸一   | 豊橋技術科学大学    | 教授             |
| 萱場祐一   | (独) 土木研究所   | 自然共生研究センター長    |
| 木村賢史   | 東海大学        | 教授             |
| 笹原克夫   | 高知大学        | 教授             |
| 佐藤慎司   | 東京大学大学院     | 教授             |
| 谷口義則   | 名城大学        | 助教授            |
| 谷田一三   | 大阪府立大学      | 教授             |
| ○ 辻本哲郎 | 名古屋大学大学院    | 教授             |
| 福濱方哉   | 国土技術政策総合研究所 | 河川研究部 海岸研究室長   |
| 藤田光一   | 国土技術政策総合研究所 | 環境研究部 河川環境研究室長 |
| 松尾直規   | 中部大学        | 教授             |

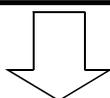
※五十音順、敬称略

○委員長

## 天竜川ダム再編事業環境検討委員会の進め方

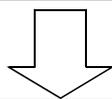
### ■第1回検討委員会 【7月5日】

- ・ 検討委員会の進め方
- ・ 流域及び河川の概要
- ・ 天竜川中下流部環境の現況分析（1）
- ・ 天竜川ダム再編事業による中下流部の環境予測・評価（1）



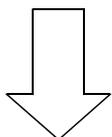
### ■第2回検討委員会 【10月頃】

- ・ 天竜川中下流部環境の現況分析（2）
- ・ 天竜川ダム再編事業による中下流部の環境予測・評価（2）
- ・ 今後の調査計画（1）



### ■第3回検討委員会 【平成19年2月頃】

- ・ 天竜川ダム再編事業による中下流部の環境予測・評価（3）
- ・ 今後の調査計画（2）
- ・ 中間とりまとめ



### ■次年度検討委員会：2回程度 【平成19年度】

- ・ 天竜川ダム再編事業による中下流部の環境予測・評価（4）
- ・ 今後の調査計画（3）、（4）
- ・ 全体とりまとめ

## 第1回天竜川ダム再編事業環境検討委員会議事概要（速報）

■日 時 平成18年7月5日（水） 14:00～16:50

■場 所 浜松名鉄ホテル 3階 松の間

■出席者委員

青木委員、萱場委員、佐藤委員、谷田委員、辻本委員、福濱委員

■主な議事概要

### 1) 検討委員会について

- ・ 今回の議事概要は速やかに公表する。
- ・ 次回以降、原則公開で開催し、公表する。

### 2) 天竜川ダム再編事業の環境検討について

○資料に基づき、「流域・河川の概要」「天竜川ダム再編事業の概要」「天竜川中下流部における環境の現況分析」「天竜川ダム再編事業で目指すもの」「予測・評価手法の検討」について事務局から説明し、以下の意見を受けた。

- ・ 緊急度の高い遠州灘の海岸侵食への対応に関連し、ダムからの排砂が河道を通して、どれだけの時間をかけて海岸まで流れていくのかなど、再編事業による海岸への土砂供給を時間軸で明確にする必要がある。

- ・ 海岸侵食の要因の現状分析を整理しておく必要がある。
- ・ 天竜川の目指すべき環境像についてももう少し議論する必要がある。
- ・ 天竜川の河川環境について、佐久間ダム完成以前からの変化を把握するとともに、最近の傾向（ベクトルの方向）及びその要因について分析し、再編事業がその傾向に対してどのように作用するかを明らかにする必要がある。
- ・ 治水機能を持たせることによる流況変化が土砂動態に及ぼす影響を検討する必要がある。
- ・ 再編事業による環境変化に対するミチゲーションとしてだけでなく、環境改善あるいは再生といった視点からも注目種を選定する必要がある。
- ・ 河川環境の評価については、個々の生物の生息状況だけでなく、当該生物の生息条件を整理した上で、それらの組み合わせによって行うべきである。
- ・ 調査データはデータ集としてまとめるのが良い。

以 上